

アドビ認定プロフェッショナル デザインコンペ 2024

国境なき医師団からの課題

テーマ

医療への攻撃

課題の目的

- 紛争地で医療が攻撃を受けている現実を知らせる
- 病院が攻撃され、市民が医療にアクセスできない現実がある。守られるべき医療・人道援助を訴える
- 広く一般に伝え、特に若い世代にこの現実を知ってもらうキッカケにする

参加者へのメッセージ

知ること、広めることが、人道危機の状況を変える一歩になります。

このデザインコンペの優勝作品は、MSF 公式 X(旧Twitter)、Instagram、LINE などで紹介し、紛争地での医療への攻撃について、多くの方々、特にこれからの社会を担う若い世代の方々に知っていただくキッカケを作ることができればと思っています。

SNS 時代の今、あなたのアイデア、デザイン、私たちとは違う視点、発想で、医療への攻撃について広めてください。

国境なき医師団(MSF)とは

国境なき医師団(以下、MSF)は、民間で非営利の医療・人道援助団体です。独立・中立・公平な立場で、紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機に瀕した人びとに緊急医療援助を届けています。1999年にノーベル平和賞を受賞しました。

医療攻撃について

医療施設が戦闘に巻き込まれたり、攻撃の対象にされたりすることで、患者や医師、看護師が犠牲となっています。

医療施設への攻撃は、患者や医療従事者の被害にとどまらず、その地域で暮らす大勢の人たちから医療を奪い、多くの命を脅かすことにつながります。MSFは、2015年にアフガニスタンでMSFの病院が米軍の空爆を受けた事件を受け、2016年から2017年に「[病院を撃つな!](#)」キャンペーンを展開しました。MSFは医療への攻撃がやまない現状を訴え、国際社会にさらなる取り組みを求めています。

国境なき医師団が直面する大きな課題

医療への攻撃

2016年～2022年の7年間に発生した
医療攻撃の件数*

7,418件

- 国際人道法: 医療従事者、医療施設、救急車は攻撃してはならない。
- 2016年、国連安全保障理事会は医療・人道援助活動の安全確保を全ての紛争当事者に要求。しかし現在も攻撃は続いている。
- 病院への攻撃により
 - 患者・医療従事者が被害
 - 地域に暮らす人びとが医療を受けられない

→助かるはずの多くの命が救えない

「医療は命がけの仕事であってはなりません。患者は病床で攻撃されたり、殺害されたりしてはならないのです。」 国境なき医師団国際ネットワーク元会長ジョアンヌ・リュウ

出典: Insecurity Insight 'Ineffective Past, Uncertain Future' report (2021, May)
<http://insecurityinsight.org/wp-content/uploads/2021/05/Ineffective-past-Uncertain-Future-A-Five-Year-Review-2016-2020.pdf>
 : UNRELENTING VIOLENCE: Violence Against Health Care in Conflict 2021
<https://www.safeguardinghealth.org/sites/shcc/files/SHCC%25202021%2520Unrelenting%2520Violence2%2520FINAL.pdf>: IGNORING RED LINES Violence Against Health Care in Conflict 2022
<https://insecurityinsight.org/wp-content/uploads/2023/05/SHCC-Report->

MEDECINS SANS FRONTIERES
国境なき医師団

医療への攻撃 (2022)

- 1,328 件の医療への攻撃が 16 カ国で報告
- 938 の医療機関が影響
- 232 人の患者と医療従事者が死亡
- 452 人の患者と医療従事者が怪我

(出展: WHO, The Surveillance System for Attacks on Health Care)

ロゴ

使用する場合は、国境なき医師団の名称とロゴマークがセットになった下記を使用ください。ただし、ロゴの使用は必須ではありません。



※ロゴを使用する場合は、この資料の P10 以降のページにあるブランドガイドライン(一部抜粋)を遵守してください。ガイドラインに沿っていない場合、審査対象外になる可能性があること、ご了承ください。

コピー

下記コピー案をご利用いただけますが、より良い案があればぜひ提案ください。

病院を撃つな！

命を救う場所に爆弾がふりそそぐ・・・なぜ

制作物規定

下記のコンテンツを、SNS 投稿用に 2 種類作成ください。Instagram, X(旧Twitter), LINE 1:1 1080×1080
ピクセル Instagram Stories 9:16 1080×1920ピクセル

制作物を使用するシチュエーション

若い世代を中心に広めることを想定して作成ください。医療攻撃について関心を持ってもらい、MSF の HP に掲載している詳細(下記リンク)を見てもらうため、MSF の公式 SNS アカウントから誘導する投稿として使用予定です。

[医療への攻撃](#) | [活動ニュース](#) | [国境なき医師団 \(msf.or.jp\)](#)

SNS 投稿時に URL は別途記載しますので、今回作成するクリエイティブの中に、HP の URL を記載する必要はありません。

背景情報

MSF や医療攻撃について理解した上で作成ください。

[団体紹介ブックレット](#) | [報告書・発行物](#) | [国境なき医師団 \(msf.or.jp\)](#)

[医療への攻撃](#) | [活動ニュース](#) | [国境なき医師団 \(msf.or.jp\)](#)

[「病院を撃つな！」キャンペーンサイト](#) | [国境なき医師団 \(msf.or.jp\)](#)

[やまない医療への攻撃【国境なき医師団】 - YouTube](#)

使用可能な素材

- ・MSF から提供した写真
- ・独自に作成したイラスト

MSF の HP の写真や動画を参考にして、独自のイラストを作成してかまいません。
イラストと写真を組み合わせて使用しても、どちらかのみを使用でもかまいません。

【イラストのアイデアのご参考】

[「病院を撃つな！」キャンペーンサイト | 国境なき医師団 \(msf.or.jp\)](#)

[やまない医療への攻撃【国境なき医師団】 - YouTube](#)

上記のようなクリエイティブ以外にも画期的なアイデアがあれば、ぜひご提案ください。

【使用不可の素材】

ネット検索で見つかる写真やイラスト

MSF の HP に掲載されている写真で、今回提供している写真以外をそのまま使用

デザインの注意点

MSF は患者のために活動し、患者の声を世に届けるために声を上げ続けています。

主人公は患者ですので、MSF の医療従事者やスタッフを英雄(ヒーロー)として描かないようにご注意ください。

写真クレジット

MSF が提供した写真を使用する場合は、規定のクレジット©を入れてください。

クレジットは下記のように写真の中に入れるか、写真の下に入れてください。

©の後に半角スペースを開けてください。

クレジットの配置場所は写真の中が望ましいですが、媒体やサイズによっては写真の外でも可能です。

写真の中に入れる場合



- ・フォント: Arial
- ・サイズ: 実寸で視認できる程度のサイズ
- ・場所: 写真の外枠近く。基本は右下とし、右下の背景が煩雑な場合は、最も背景がシンプルな場所に入れてください。
- ・背景が暗い場合は白色の文字で記載してください。

【写真上にロゴをのせる場合】

○ 適切な用例

- ・ 写真の中の図柄が複雑な部分は避け、無地の部分にロゴを乗せるようにします。
- ・ 人物や顔の上にロゴを乗せることは避けます。



ロゴを置くのに適した明るい部分がない場合、文字が白いタイプのロゴを使用します。

× 不適切な用例

赤と黒のロゴは、写真の図柄が複雑な部分や色が暗い部分には乗せません。



代替案



写真の図案が複雑な場合は、写真の下に白い帯を敷き、その上にロゴを置くことも可能です。

提供物:

- ロゴデータ
- ブランドガイドライン一部抜粋
- 写真(使用の場合は、©記載)

【写真の説明】

① から⑤ウクライナ

参考記事

[ウクライナ:ロシア支配地域で大規模な医療施設の破壊—医療アクセスは著しく悪化 | プレスリリース | 国境なき医師団 \(msf.or.jp\)](#)

① © Colin Delfosse

ウクライナ ヘルソン州ヴィソコピラ町の病院= 2023 年 1 月 30 日



② © Colin Delfosse

ウクライナ ドネツク州リマンの破壊された病院=2023 年 1 月 28 日



③ © Colin Delfosse

ウクライナ ドネツク州コスチャンティニウカで MSF が支援する病院=2023 年 2 月 3 日



④ © Colin Delfosse

ウクライナ ネットク州コスチャンティニウカで MSF が支援する病院＝2023 年 2 月 3 日



⑤ © Colin Delfosse

ウクライナ破壊された病院＝2023 年 2 月 3 日



⑥から⑨アフガニスタン

参考記事

写真⑥、⑦

[アフガニスタン: 襲撃を受けたダシュ・バルチ産科病棟での活動を終了 | プレスリリース | 国境なき医師団 \(msf.or.jp\)](#)

写真⑧、⑨

[アフガニスタン: 病院爆撃の記憶—理想と現実の間で | 活動ニュース | 国境なき医師団日本 \(msf.or.jp\)](#)

⑥ © Frederic Bonnot/MSF

銃撃を受けた産科病棟＝2020年5月13日



⑦ © Frederic Bonnot/MSF

襲撃を受けた産科病棟のベッドと床に残る血痕＝2020年5月13日



⑧ © Andrew Quilty

攻撃を受け、廃墟と化したアフガニスタン・クドゥーズの病院＝2015年10月10日



⑨ © Andrew Quilty

攻撃を受け、廃墟と化したアフガニスタン・クンドゥーズの病院＝2015年10月10日



イラク

⑩ © Sacha Myers/MSF

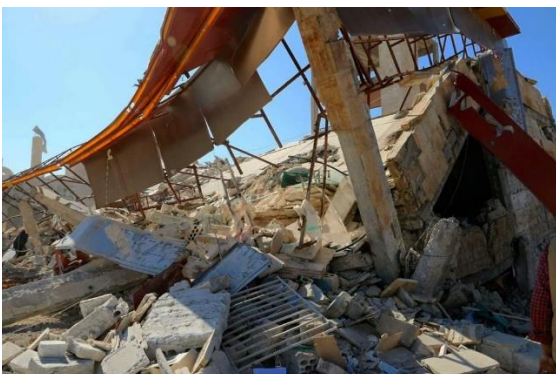
2016～2017年、「イスラム国」からイラク北部、モスルの旧市街を奪還するための紛争では、医療も犠牲になった



シリア

⑪ © MSF

MSFが支援するシリア北部の病院が攻撃で破壊される＝2016年2月15日



ブランドガイドライン 抜粋 ロゴ規定

ロゴを使用する場合は、必ずガイドラインに沿って作成ください。

BRAND IMAGE

クリアスペース (保護領域)

ブランドロゴの独立性を保つため、保護領域を設定しています。この領域内には原則として他の要素を表示してはいけません。

クリアスペース



シンボルマーク (ランニングパーソン) の幅を X (基準) とし、上下左右に X の 1.5 倍ずつの保護領域を設定。広告媒体などでスペースの確保が困難な場合は、特例として「X」も認めます。

例



BRAND GUIDELINES | 06

BRAND IMAGE

ロゴの使用サイズ

視認性を保つため、最小使用サイズを定めています。ただし、制作する媒体により再現性が異なりますので、必ず実際の制作物を確認の上、文字がつぶれないサイズで使用してください。

ロゴ最小サイズ一覧

A3 の最小サイズ 23mm	
A4 の最小サイズ 16mm	
A5 の最小サイズ 12mm	
A6 以下の最小サイズ 8mm オンスクリーン 85px	

紙面のサイズ	ロゴの最小サイズ (縦幅)
A1 (594×841mm)	76 mm
A2 (420×594mm)	50 mm
A3 (297×420mm)	23 mm
A4 (210×297mm)	16 mm
A5 (148×210mm)	12 mm
A6 以下 (105×148mm)	8 mm

最小使用サイズ

最小サイズは紙面の大きさに規定しています。紙面のサイズに合わせてロゴの縦幅が右記の表以下にならないように注意してください。

BRAND GUIDELINES | 06

PAGE | 14

背景色

ブランドロゴを表示する場合の背景色は、白地、黒地が原則であり最も効果的ですが、白地、黒地以外の背景に表示する場合は、視認性を保つよう配慮し、使用してください。
右記はその基準を示したものです。

10%			カラー再現 高光度背景色 0% - 30% 中光度背景色 10% - 50% 低度背景色 70% - 100% 高光度背景写真 低光度背景写真
20%			
30%			
40%			
50%			
60%			
70%			
80%			
90%			
100%			

×の背景色は、ポジティブとネガティブどちらのロゴを使用しても、シンボルマークもしくは、団体名の視認性を損なうため使用しないでください。

ロゴの使用禁止例

ロゴは、正しく使用されることによってはじめて本来の機能を発揮し、イメージを正しく伝達することができます。
ロゴの扱いには十分な注意が必要であり、右記のような誤った使用は禁止です。

		× カラーを変更してはいけません。
		× ランニングパーソンのロゴを反転することや、レイアウトの配置を変更してはいけません。
		× ロゴのテキストフォントを変更してはいけません。
		× ランニングパーソンのふちどりや、白抜き表示してはいけません。団体名のカラーを変更してはいけません。

ロゴの使用禁止例



✕
テキスト、罫線のデザインを省略してはいけません。



✕
効果（ドロップシャドウ、光彩・エンボスなど）を加えてはいけません。



✕
変形（異体・平体・斜体）してはいけません。



✕
ロゴのランニングパーソン部分（右下の赤斜線がない）を単体で使用することはできません。また、ランニングパーソン単体ロゴ（右下に赤斜線あり）を団体名入りロゴとして使用することはできません。

ランニングパーソン

ロゴのシンボルである「ランニングパーソン」には、命が危機に立たされている場所にどこでも駆け付ける、という意味が込められています。

ランニングパーソン



⚠ 注意

表示規定

ランニングパーソンは単体表示できず、同時にテキストとセットになったフルロゴの掲出が必要です。ランニングパーソンの上に文字を重ねた表示はできません。

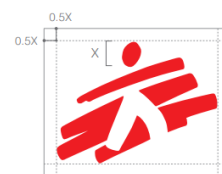
カラー

ランニングパーソンは原則として赤色で表示します。例外カラーは、フルロゴが単色で表示される場合の黒のみ可。

ロゴカラー



クリアスペース（保護領域）



この領域内には原則として他の要素を表示してはいけません。